

発行日 2007年12月5日

水彩の魅力

みなさんは幼少のころから、絵を描くことにそれなりには親しんでいますよね？

一度も絵を描いたことのない人はいないと思います。

しかし、大人になってからは、絵を描かなくなった人のなんと多いことか。

「今さら・・・」なんて思わずに一緒に始めてみませんか？

パソコン絵画だと、準備も後片付けも何にもいりません。

気軽にはじめられますよ。

パソコンで水彩画を描くには水彩というソフトを使います。

普通に水彩画を描くように、絵の具を混ぜ合わせて色を作り、いろいろな種類の筆を使い、キャンパスに描いていきます。

また、パソコンならではの、「レイヤー」という層を重ねて描く機能、「トレース」という下書きお助けツール、「テクスチャー」という材質効果機能を使えます。

描き始めるとどんどん楽しくなってきます。そして絵を描くことが楽しくなると、今まで見えなかったものまでが見えてきます。といっても透視能力が備わるという意味ではありません。視野が広がるのです。

道端にひっそりと咲いている花がふと目にとまったり、何気なく見上げた空の雲の形に心惹かれたりするのです。街を歩いていても楽しくなりますよ。

そうして描き続けていくうちに、満足のいく作品が出来ます。そうすると、誰かにみてもらいたくなりますよね。

そこで使うのがブログです。簡単にインターネット上に公開できます。不特定多数の人にみてもらえますし、作品の感想を書いてくれる人がいるかもしれません。感想を書いた人とお友達になれるかもしれません。

どんどんと世界が広がっていきますね。

と同時にパソコンもきっと上達しているはずですよ。

誰も最初から上手には描けません。

まずは、水彩というソフトの使い方を学び、たくさん絵を描くことだと思います。

インターネット上にも多くの作品が公開されています。

こんな絵が描けるの？と思うようなすごい作品もたくさんあります。

実を言うとわたしの絵の腕前はへなちょこです。でも、自分らしい絵が描ければそれでいいと思うのです。下手は下手なりに味のある絵が描けるんですから。(←言い訳)

蕎麦について

みなさんは、お蕎麦が好きですか？

わたしは、10年ぐらい前までは、お蕎麦に対して何の関心もありませんでした。

10年前に信州への日帰り蕎麦ツアーに参加して、ある店で手打ち蕎麦をいただきました。その時は本当に衝撃でした。今まで食べていたお蕎麦はいったい何だったのだろうか。香り、こし、味、本当に参りました。その後からです、蕎麦に興味を持ったのは。

自分で作ってみようと、スーパーでそば粉を買って、打ってみました。

結果は最悪でした。

以前にうどんを手打ちして、まずまずおいしく出来たので、同じようなものかと思いついたのですが、食べられるものではありませんでした。

それがなんだかとても悔しくて、インターネットで検索して見つけた三田にある「そば道場」で、蕎麦の打ち方を教わり、その後は道具をそろえ、何度も練習をしました。今もそんなに上手ではありません。が、結構おいしい蕎麦が打てるようになったと自負しています。

先月、六甲道勤労市民センターで蕎麦打ち講座があったので、参加しました。

本当に大勢の方が来られていました。男性よりも女性の方のほうが多かったです。

挽きたての粉で、打ちたてをすぐに湯搔いて食べる蕎麦は格別です。本当においしかったです。



今年は年越し蕎麦を打ってみようかという気になっています。

この気持ちが年末までキープできるかはわかりませんがね（笑）

おもしろい講座

どのような講座を作れば、みなさんに楽しんでいただけるのか試行錯誤の毎日です。

マンツーマンとか個別とかいうのではなく、参加されている方同士で和気藹々と楽しめるような講座をつくり、たくさんの方にご参加いただきたいと思っています。

楽しいのが一番ですよ。

「こんな講座をつくって欲しい」とか「こういうことは教えてもらえないの?」とかリクエストがありましたら、教室までお寄せください。

オリジナル卓上カレンダーはなかなか好評です。

お友達にプレゼントされるのか、別売りキットもご購入される方が多いです。

キットがなくなり次第終了しますので、受講希望の方はお早めにどうぞ。